

令和4年度（前期日程）

入学者選抜学力検査問題 英語 出題意図

I 【速読力を確認する択一式問題および正誤問題】

国際的なオンラインメディアに掲載された「なぜ、これらの国は終わりなき経済成長より幸福を重視するのか」という見出しの記事を読み、要点を的確に把握できるかを問う問題群。記事は、GDP（国内総生産）を成功を測る唯一の指標と見なし、その成長のために環境を破壊し格差を生み出してきた従来の資本主義から距離を置き、人間の幸福や環境の保全・再生を中心に据える経済システムの確立を目指す国や地域の取り組みを紹介している。また、そのような取り組みが立脚する学説を概説している。受験者には、比較的長い記事を迅速に読み進めながら、コスタリカ、ブータン、ニュージーランド、アムステルダム市のそれぞれにおいて、どのような考え方に基づいてどのような経済政策がとられているかを大まかに理解するとともに、記事全体の趣旨を把握することが求められる。

II 【精読力を確認する記述式問題】

アメリカの雑誌に掲載された「AI は私たちがどう生まれ変わらせるか」という題目の小論を読み、内容を正確に理解できるかを問う問題群。著者はAIが人間の暮らしぶりをどう変えるかという従来からあった疑問の枠を超えて、AIが人間どうしの関わり方にどのような影響を与えるかについて考察する。また、その解明を目的とする実験群を紹介する。具体的には、間違いを犯さないロボットと時々間違いを犯してそれを自ら認めて謝るようにプログラムされたロボットが共にグループワークを行う人間に与える影響の違いを調べる実験や利己的に振る舞うようにプログラムされたインターネット上のボットが周りの人間の振る舞いに与える影響を調べる実験などが挙げられている。受験者には、これらの実験の方法や結果、実験結果に基づいてなされる考察の内容を正確に理解することが求められる。さらに、商業的な目的から人間を喜ばせるようにデザインされた機械が人間の生活に深く入り込むにつれて、個々の人間の感情が乏しくなり、人間どうしの互恵的なつながりが薄れてしまうのではないかという作者の危惧も理解することが求められる。

III【英語による論述問題】

与えられた命題に関する自らの考えを具体的な例や経験などで裏付けて正当化することを求める問題。便宜上、150語から200語程度で答えることが求められるが、重要なのは内容であり、所定の解答欄に記入できていれば、長さを過剰に気にする必要はない。次の4つの観点で評価する。

- (1) 関連性：出題の意図を正しく理解した上で、議論の展開をサポートする例や経験などを効果的に用いているか。
- (2) 論理構成：文をつなぐ語句を適切に使い、論理的に一貫性のある文章を構成できているか。
- (3) 語彙・文法：幅広い語彙や多様な文法構造を用いて、伝えるべき内容を適切に伝えられているか。
- (4) 全体のまとまり：全体としてまとまりがあり、説得力のある文章になっているか。